

JA 東京カッパ 第30回東京都5年生サッカー大会 7フロック予選

1. 競技規則

日本協会「サッカー競技規則」および「8人制サッカー競技規則」に準ずる。ただし、連盟大会事項および各大会で定められた「大会事項細則」が優先する。

2. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

I. 競技のフィールド

- ①フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可(ライン表示についてはマーカーコーンの使用可)
- ②フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mを基本とし(第7フロック各会場条件により縦68~58m、横50~40m)、照度が十分に確保されていること。交代ゾーンとして中央から両側に3mのマークを設ける。
- ③ペナルティエリア等・・・ペナルティエリア12mペナルティーマーク7m、ペナルティアーチの半径7m、ゴールエリア4m、センターサークルの半径7m
- ④テクニカルエリアは設置しない。戦術指示はその都度ベンチのただ1名の指導者が伝えることが出来る。

II. ボール

4号球。フィールドの状態により適正な空気圧とする。

III. 競技者の数

①8人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。＜ベスト8以上の試合は、中央大会事項細則に準じる。＞

*一方のチームが8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中の負傷者・退場者は即時補充する。

*試合進行中および終了時、フィールド上に6人未満の場合は、試合は不成立となる。

なお、主審の許可を得て、用具を正すまたは負傷の処置で一時的に6人未満の場合はその限りではない。

本項は、早期復帰することが条件となる。復帰の見通しがたない場合は主審の判断で競技を終結させる。

*試合開始時から試合終了時まで、2人以上3人以内のチーム役員(登録用紙に記載された役員)がベンチにいないといけない。(内1名は指導者資格保持者でなければならぬ)

例外として、次試合の審判対応準備を行うための速席により、1名となることは認められる。

②試合に出場出来る競技者は試合当日のメンバー表登録者で、人数に制限は設けない。

③ベスト8までは、フィールドプレーヤーは交代ゾーンからいつでも自由な交代が出来るが、ゴールキーパーの交代は主審に通知し、

試合の停止中に行う。交代要員はユニフォームと異なる色(ビズ等)を着用する。

＜ベスト8以上の試合は、3ピリオド制とし、中央大会事項細則競技規則に準じる。＞

*3ピリオド制の運用方法について

A.3ピリオド目はコイントスし、勝った方が攻めるゴールを決める。また、試合時間の約半分が経過したところ

サイドをチェンジする。サイドチェンジするタイミングは主審に委ねる。

B.登録選手は第1と第2ピリオドは総入れ替えをする。3ピリオド目は組み直しとする。

C.交代は、3ピリオド目が自由な交代で行える。第1と第2ピリオドの交代は、チームの判断により、負傷した選手が試合を続けられないと判断した場合のみ行える。なお、交代や退場時の補充、負傷治療中の一時的な補充では、同一選手の出場は3ピリオドのうち2回までとする。

IV. 競技者の用具(ユニフォーム)

①実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

②選手番号は規定(背面:縦25cm・35cm、前面:縦10cm・15cm)サイズを適宜縮小することができる。

③番号表示はシャツの背面及び前面とする。シャツには表示を推奨する。

④ユニフォームのメーカーロゴの選り、スポンサーのライン数には及しない。

⑤当日の対戦相手とユニフォームの色混濁を用具チェック前に行っておくこと。

⑥ゴールキーパーの予期せぬ事態でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、

試合で使用していない正副1ずれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。

それが難しい場合は番号無しで安全なジャージ等の着用を認める。

⑦必ずフィールドプレーヤーとなるゴールキーパーのシャツおよびジャージは、試合開始前からフィールドプレーヤーと同じ色で良い。

ただし、シャツは他の競技者と区別できる色彩とする。また、選手番号は固有の番号とする。

⑧登録外の選手がベンチ入り(応援のため)する場合、登録選手および交代要員とは区別できる服装にすること。

⑨ユニフォームの選手番号は、選手ごとに固有の番号とし、試合毎に変更することができる。

V. 審判

試合は1人の主審と2人の副審、1人の第4の審判員(任意)で運営される。

審判服の着用を必須とする。

担当試合の終了後、速やかにコート本部に結果報告、提出すること。

VI. 試合時間

ベスト8までは、試合時間は40分(前後半各20分)とする。ベスト8からは、12分3ピリオドの36分を原則とする

3. 警告・懲罰および再試合など

I. 期間中に累積警告を2回受けた選手は、次の1試合は出場停止となる。

フロック大会での警告・退場・退席の処分は中央大会には持ち越さない。

II. 試合において退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、

それ以降の処置については少年サッカー連盟規律フェアプレー委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員のうちから競技者を補充する。

主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

III. 試合が一方または両方のチームの責任なき事由(天災・悪天候・高気温・施設側または大会運営事由など)により開催不能または終結となった場合は原則「再試合」とする。

⇒ 再試合の日時・試合会場・審判員・選手登録などは新たに設定することができる。

※大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が不可の場合は次による。

※開催不能の場合または中止の場合、フロック委員長へ状況を速やかに報告するものとする。

フロック委員長主導にて役員にて協議し、その後の処置を決定する。

IV. 試合が一方あるいは両方のチームの責任における事由(選手証不携帯、人数不足、暴力行為、試合拒否など)により開催不能または中止となった場合は以下の対応とする。

A. 一方のチーム責任による。開催不能もしくは中止の場合

・放棄試合として、不戦敗扱いとする。

・不戦敗チームは敗戦となる。

B. 両方のチーム責任による。開催不能もしくは中止の場合

・無効試合として、原則「再試合」とする。ただし、大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない

事情により再試合が難しいと判断される場合次に進むチームをチーム代表者のくじにより決定する。

上記のようなケースが発生した場合、事由内容によっては懲罰が与えられることがある。

重大事由の場合、没収試合として当該チームの全記録を抹消することもある。

V. 試合会場本部で判断ができないうちで発生した場合は、速やかにフロック委員長に確認を取ることを。

万一、フロック委員長に連絡が取れない場合は、予定通り試合を行うがフロック委員長預かりとする。

VI. 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、規律フェアプレー委員会にて決定する。

5. 熱中症対策

日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」に従った対応を各会場で行う事を必須とする。

*WBGT-31(人工芝は28)以上となる時刻に、試合を始めない。(キックオフ時間を設定しない。)

*WBGT-28(人工芝は25)以上となる時刻に試合時間に含まれる場合は両ベンチ・補助審判員部分に日影を作り、

水やスポーツドリンク、経口補水液等を用意し、試合にはCooling Breakを設ける。

*WBGT-25(人工芝は22)以上の場合は飲水タイムを行う(Cooling Breakを行っても良い)

やむを得ず行う場合は「JFA熱中症対策(A+B)」を讀み上げた上でCooling Breakを必ず行う。

*中止や延期の判断は試合開始前もしくはハーフタイム時に限る。プレー中の対応・変更はしない。

*中止や延期の判断は試合前は本部が決定し、試合中は主審が判断し本部と協議の上、前半で試合を終了する。

*中止した試合はグループ担当と役員が相談の上で替え日を決める。前半で終了した試合の代替日は後半から行う。

*各グループは試合の度に当日の「本部」の役割を担うものを複数決定する。

*運営担当者は必ず(黒球式)WBGT計測器を持参する事。WBGT測定器がその会場に

終日設置される場合はそれを利用する事も出来る。(事前に担当者に確認が必要)

*計測は必ずベンチ上で計測器の黒球が日影に落ちないよう、選手の身長2/3程の高さに設置(吊下げか三脚に固定)する。

(150cm平均仮定した場合は約100cmの高さ・・・コーナークラックの下紐に引掛けると約1mになる・・・目安)

*全ての試合のキックオフ直前とハーフタイム時に計測を行い、運営担当者は結果報告書の指定の欄に

キックオフ時とハーフタイム時それぞれのWBGT指数を記載する。

*主審はWBGT指数に対応した場合、「本部」による決定で試合中止、又は試合中選手が熱中症に陥る可能性が起きたので

ハーフタイムで中断し、以降は・・・等々を審判報告書の「その他の報告事項」欄に記載する。

参考資料(日本サッカー協会より抜粋)

■サッカー競技規則

■8人制サッカー競技規則

■JFA熱中症対策ガイドライン

http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_all_11_2014.pdf

http://www.jfa.jp/documents/pdf/eight_rules.pdf

http://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/K20160310_6.pdf